



認定NPO法人CLACK説明資料

2024年03月20日

目次

1. 自己紹介
2. 団体概要
3. 立ち上げの背景
4. 事業概要
5. 最後に



平井大輝（28）
1995年大阪（十三）生まれ
認定NPO法人CLACK理事長
北野高校126期（部活は所属なし）
東京・大阪の2拠点生活中

好きなこと

漫画、アニメ、ラジオ（オードリー）、プロ野球

最近のニュース

チャリティーランナーとして、フルマラソンを完走（まだ足に少しダメージが残ってます）

目次

1. 自己紹介
2. 団体概要
3. 立ち上げの背景
4. 事業概要
5. 最後に

Vision

私たちが目指す社会像

生まれ育った環境に関係なく、
子どもが将来に希望とワクワクを持てる社会

Mission

私たちが果たす役割

困難を抱える中高生に、
デジタルを使った伴走支援のインフラをつくる

貧困

虐待

ヤングケアラー

発達障害

外国ルーツ

不登校



2.1 CLACKの課題意識 貧困の連鎖と3つの不足

貧困が連鎖する社会構造だけでなく、
貧困による3つの不足が将来の自立をより困難にしている



01 経験

学習の基盤となる知的好奇心や学習への姿勢などは幼少期の活動の中で育まれます。経済的な困窮は様々な経験の妨げにもなり、経験の不足が生まれます

02 つながり

親と同じ社会階層の大人が多く、学ぶことや働くことイメージが偏ってしまいます。また、困ったときに助けてくれる大人やロールモデルとなる大人も少ない傾向にあります。

03 考え方

長期的な視点や計画を立てる力が養われなかったり、消費的な思考になる場合が多く、さらに困難から脱しにくい状況が生まれます。

※1 東京大学「高校生の進路追跡調査」より（2011）、※2 厚生労働省「平成25年若年者雇用実態調査より、※3 国税庁「民間給与実態統計調査」（令和元年分）

困難を抱える高校生に無料の プログラミング教育とキャリア教育を提供



3ヶ月間の
プログラミング教育とキャリア教育

ITの進路を目指す
実践型無料プログラミング教育

CLACKの主な既存事業



Tech Runway



困難を抱える高校生とつながり、自走の力をつけるために対面で3ヶ月にわたってプログラミング学習支援とキャリア支援を行う

十三（大阪）

堺（大阪）

五反田（東京）

西条（愛媛）

Tech Runway+



ITで就職を見据えて、Tech Runwayで学んだ高校生たちがより専門的にITやプログラミングについて3ヶ月間（更新制）学ぶ

京橋（大阪）

五反田（東京）

デジタル居場所



中高生のデジタル機器への興味関心からアウトリーチを行い、困難を抱える中高生への継続的な支援を対面で行う。ケースごとに福祉的な支援をステークホルダーと連携して行う

十三（大阪）

東京（2024年度中
開設予定）

IT企業でインターン 受託案件



お金とスキル



貧困から脱出



これまでの実績

プログラミング体験会



1236名

プログラム参加者数



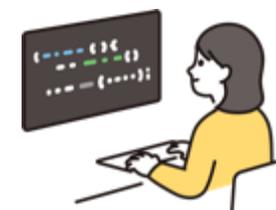
640名

PC寄贈企業数



21社

PC寄贈台数



1000台以上

運営体制



スタッフ数

常勤	11名	ボランティア	30名
非常勤	25名	※2024年3月時点	

事業費の推移

- 2023年の予算 1億1200万円
- 2022年度の事業費 5500万円
 - 2021年度の事業費 2700万円
 - 2020年度の事業費 1300万円
 - 2019年度の事業費 260万円
 - 2018年度の事業費 80万円

パートナー企業



メディア掲載実績と受賞歴



メディア掲載実績



2023年10月24日 ABC(朝日放送)放送「newsおかえり」

多数のメディア掲載

毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、
産経新聞、日本経済新聞、大阪日日新聞
Yahoo!ニュースなど

受賞歴



受賞実績

- ・シチズン・オブ・ザ・イヤー2021年度
- ・スミセイ未来賞
- ・SDGs 岩佐賞
- ・イノベシスト大賞
- ・Forbes Japan 30 under 30 2023年度

目次

1. 自己紹介
2. 団体概要
3. 立ち上げの背景
4. 事業概要
5. 最後に

十三に生まれる
祖父の代からいろんな自営業やってきた家系
5人家族（母、父、9歳上の姉、7歳上の兄、僕）



TEL 304-8954

うどん



転機は中2の時でした。
父のやっていた飲食店が潰れ、その冬に両親が離婚。
借金を背負い、無職になった父親の親権を選びました

大阪府立
北野高等学校



大学進学後の2つの軸

① これまでいろいろなことを我慢してきたし、
勉強以外にもいろいろなことに挑戦してみよう！

② 自分と同じような境遇の子どもになんかできないかな？

ヒッチハイク



大阪から東京まで

海外バックパッカー



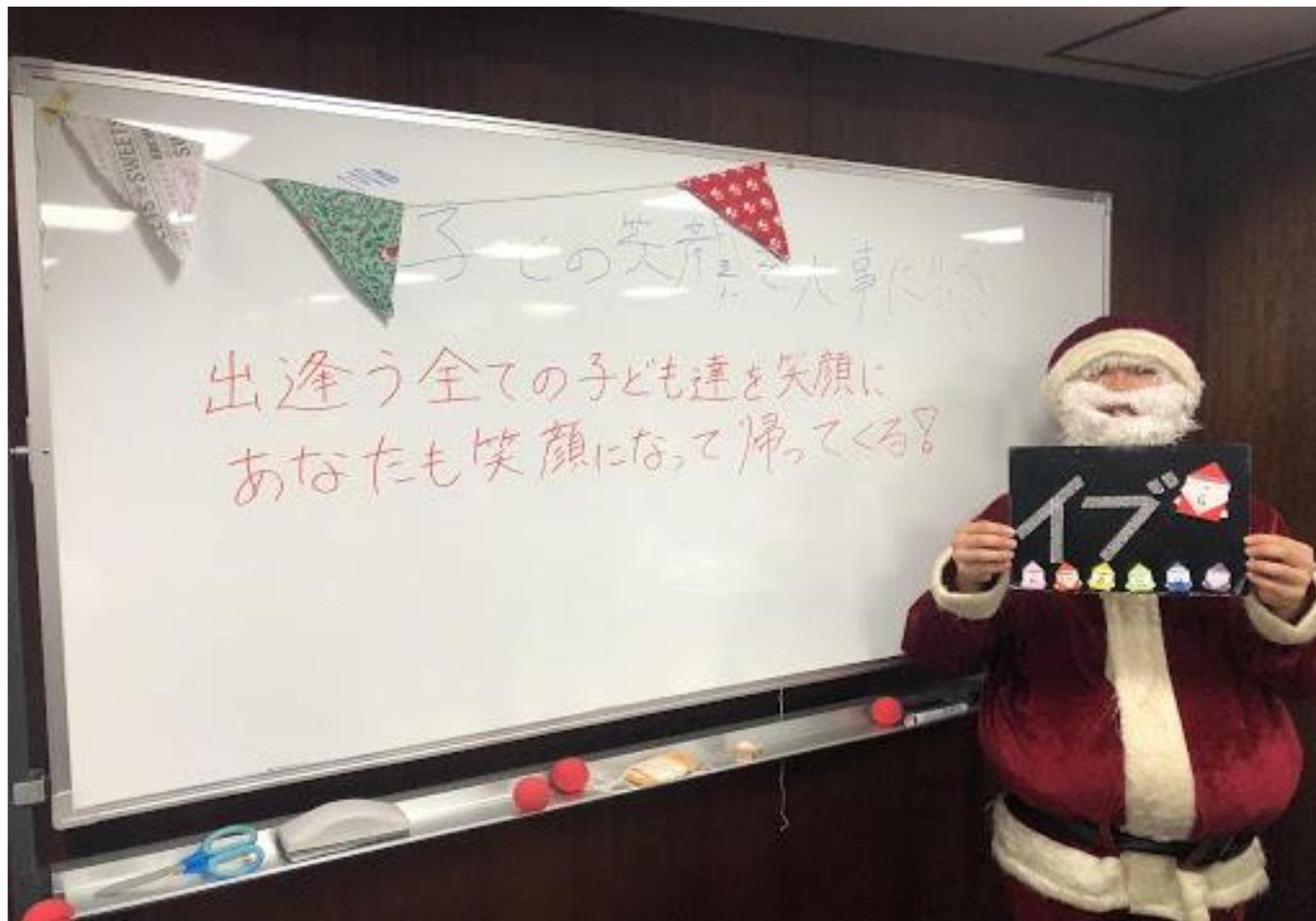
タイ、ベトナム、ミャンマーなど

部活動



日本拳法という格闘技

ガチのサンタ



※平井です

寄食



ワニの手



ダイオウグソクムシ



賞味期限切れの
シュールストレミング

10種類以上のバイト

- コンビニ（セブン、サンクス、ファミマ）
- カフェ
- 百均
- 鉄板居酒屋
- 日本酒バー
- フェスのスタッフ
- 雑貨屋
- 年賀状仕分け
- 引っ越し
- 倉庫作業
- 心理学実験
- 塾講師

などなど

- ・1ヶ月間、IT企業でプログラミングを使って、課題解決を行うインターンにバイト代わりのつもりで参加
→頭をつかう仕事のおもしろさとITの可能性を実感



インターン

リクルートとかベネッセとかIT企業とか



優勝してシャンパンタワー



ラフティングしたり、秘密基地作ったりする
インターン

大学進学後の2つの軸

① これまでいろんなことを我慢してきたし、勉強以外にもいろんなことに挑戦してみよう！

② 自分と同じような境遇の子どもになんかできないかな？

同じ境遇の子どもたちに

自分はなにができるのか





生活保護家庭・中3男子

- ・母子家庭
母親は中国からの元留学生で
日本語での日常会話に支障があるレベル。
- ・本人は意欲はあるが、幼い妹の面倒を
見る必要があり、家で継続して
勉強することが難しい。



高校生女子

- ・ 持病といじめが原因で中1から不登校に。
- ・ 中3のときに支援により進学意欲が湧いてくるも学力は非常に低い。
- ・ 通信制高校に進学し、しばらくは通えたものの適応障害となってしまう。

子どもの貧困をマクロな視点から見る重要性に気づく



・子どもの貧困分野で有名な
山野教授の授業を受けつつ、
関連書籍で知識を学ぶ

・イギリス、フィンランドでの
子どもの貧困関係の海外視察に同行

山野 則子 博士 (人間福祉)

大阪府立大学 学長補佐

人間社会システム科学研究科 / 地域保健学域 教育福祉学類 教授

スクールソーシャルワーク評価支援研究所 所長

日本学術会議 特任連携会員

日本学術振興会・学術システム研究センター専門研究員 (PO)

(公) 世界人権問題研究センター・プロジェクトチームリーダー

大阪府教育委員会スクールソーシャルワーク事業スーパーバイザー

【資格】 専門社会調査士、社会福祉士、臨床心理士、カナダ政府認証：親支援プログラムNobody's Perfectマスタートレーナー

【委員参画】

文部科学省 第9期中央教育審議会委員

家庭教育支援の推進方策に関する検委討員会 座長 (2016年)

厚生労働省 社会保障審議会臨時委員 (2017年～)

内閣府 子どもの貧困対策に関する検討会 構成員 (2014年)

子どもの貧困対策に関する有識者会議 構成員 (2016年～)

貧困状態の子供の支援のための教育・福祉等データベースの構築等に向けた研究会 座長 (2021年)

孤独・孤立対策の重点計画に関する有識者会議 構成員 (2021年～)



CLACKの課題意識 貧困の連鎖と3つの不足

貧困が連鎖する社会構造だけでなく、
貧困による3つの不足が将来の自立をより困難にしている



01 経験

学習の基盤となる知的好奇心や学習への姿勢などは幼少期の活動の中で育まれます。経済的な困窮は様々な経験の妨げにもなり、経験の不足が生まれます

02 つながり

親と同じ社会階層の大人が多く、学ぶことや働くことイメージが偏ってしまいます。また、困ったときに助けてくれる大人やロールモデルとなる大人も少ない傾向にあります。

03 考え方

長期的な視点や計画を立てる力が養われなかったり、消費的な思考になる場合が多く、さらに困難から脱しにくい状況が生まれます。

※1 東京大学「高校生の進路追跡調査」より（2011）、※2 厚生労働省「平成25年若年者雇用実態調査より、※3 国税庁「民間給与実態統計調査」（令和元年分）

- お金がなくなったのは、中学生に上がってからでそれまでは塾や習い事もやらせてもらえた。
- 両親とも大卒だったし、兄も姉も大学に進学していたので“大学進学”という選択肢があった

**お金がない中でもいろんなことに取り組めるのは
自分の努力だけでなくラッキーも大きかったと気づく**

生活保護家庭

中学3年生

母親バツ3の母子家庭

4人兄弟の長男

ヤングケアラー

ネグレクト

「プログラミングをやりたい」



HOLLISTER
CALIF

2



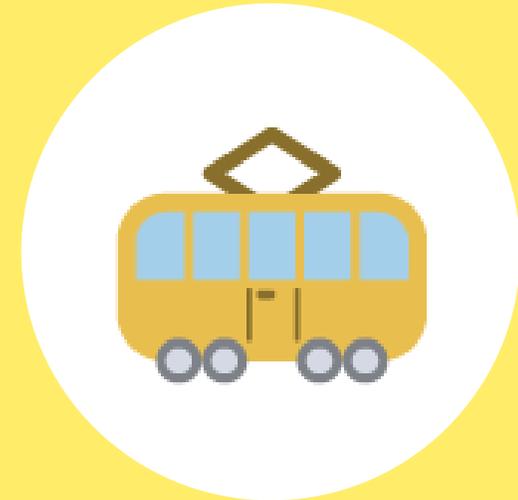
PCの無料支給



完全無料



交通費の支給





就活を辞め、子どもの貧困に
1年間本気で取り組むために大学を休学

<初期構想>

IT企業でインターンできれば
お金もスキルも身につけられるのでは？



パソコンとある程度のプログラミングを学ぶ機会をつくろう

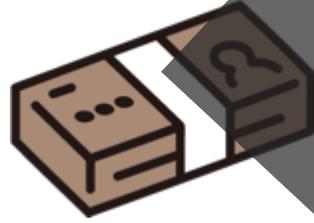
休学中に事業としてやっていくことを決意



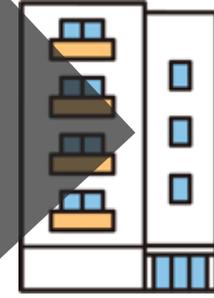
シアトルでリーダーシップ研修に参加し、
本気で世の中を良くしようとする同世代と
期待してくれる大人と出会う



子どもの貧困に事業として取り組む覚悟を決める



お金



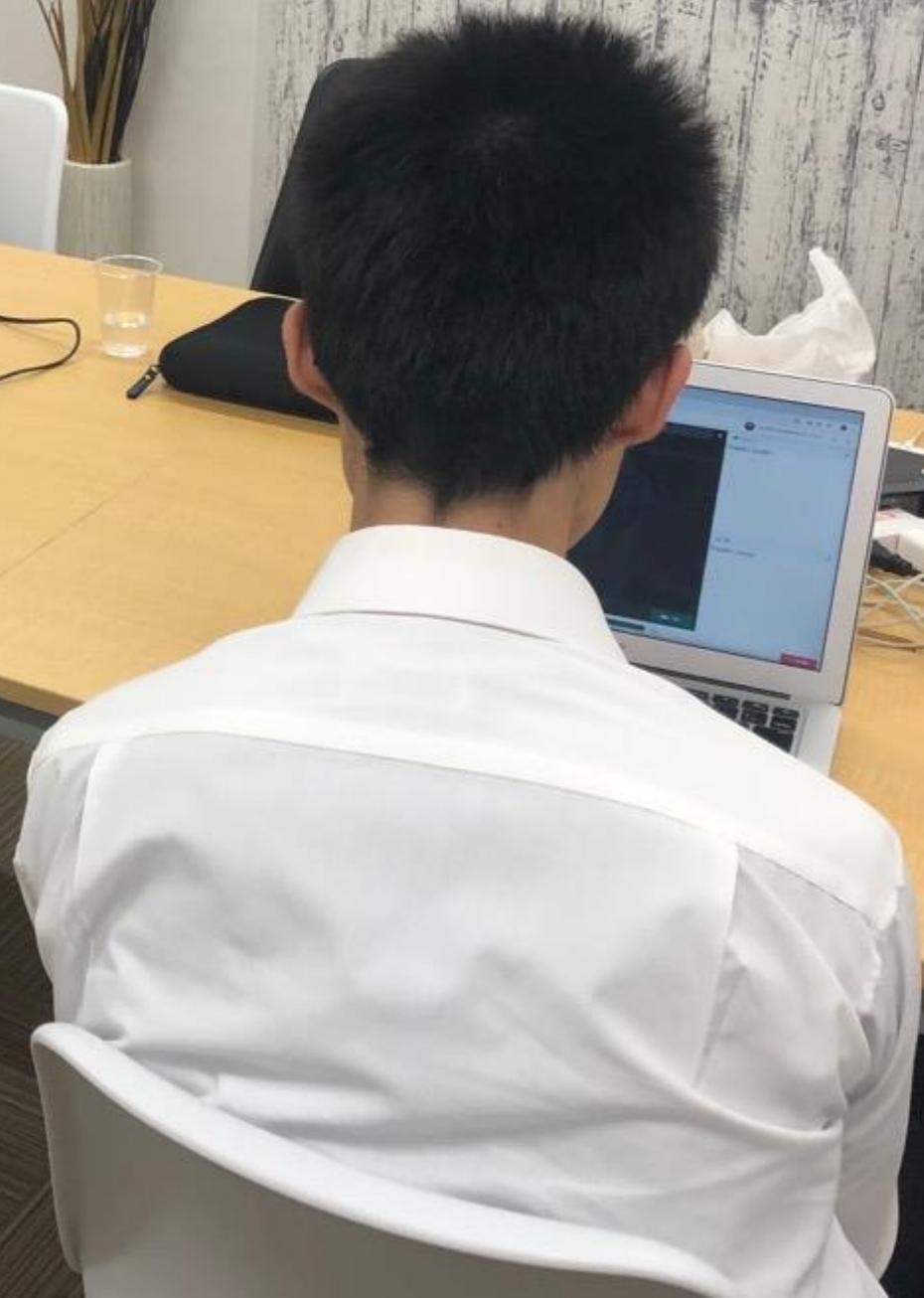
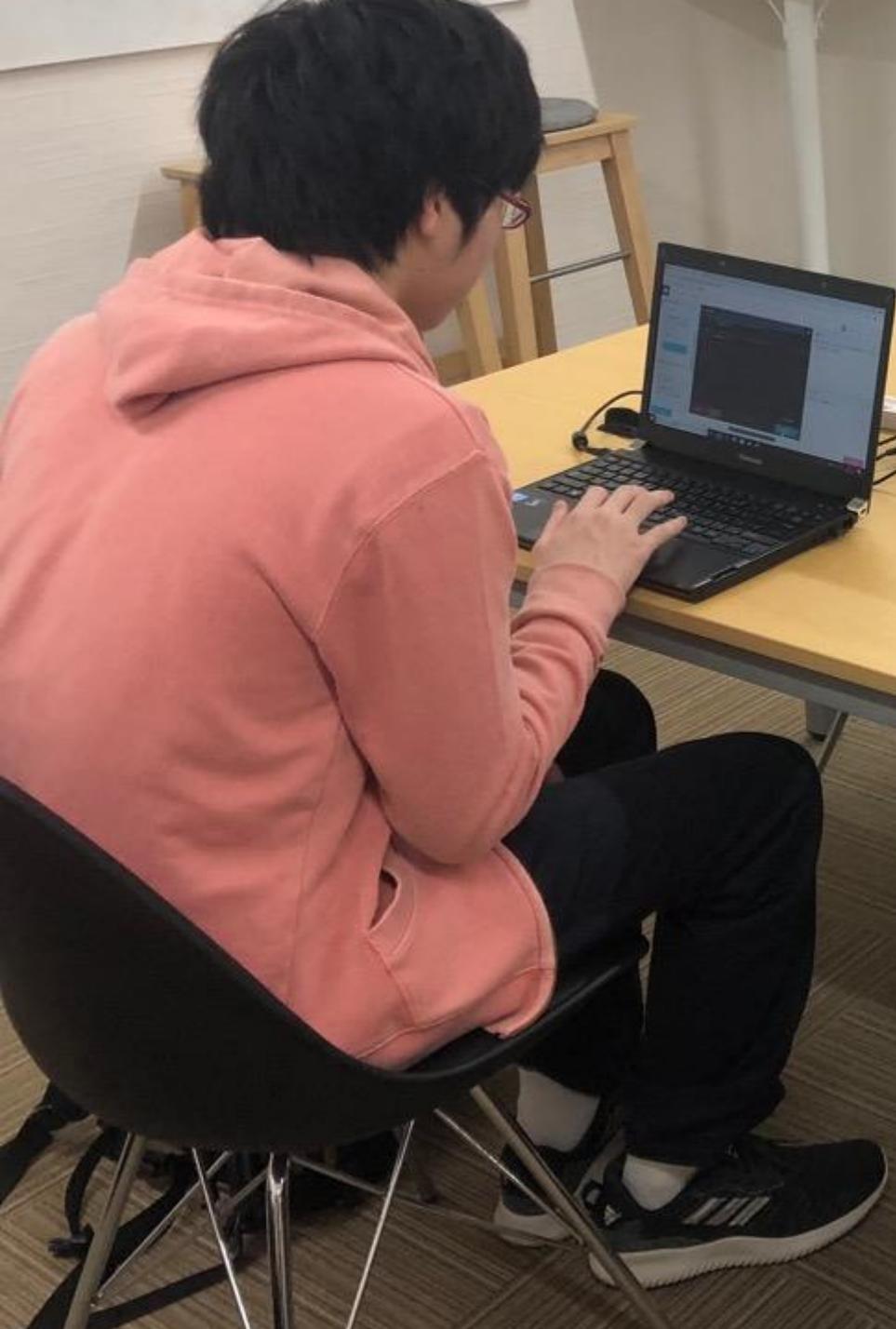
場所

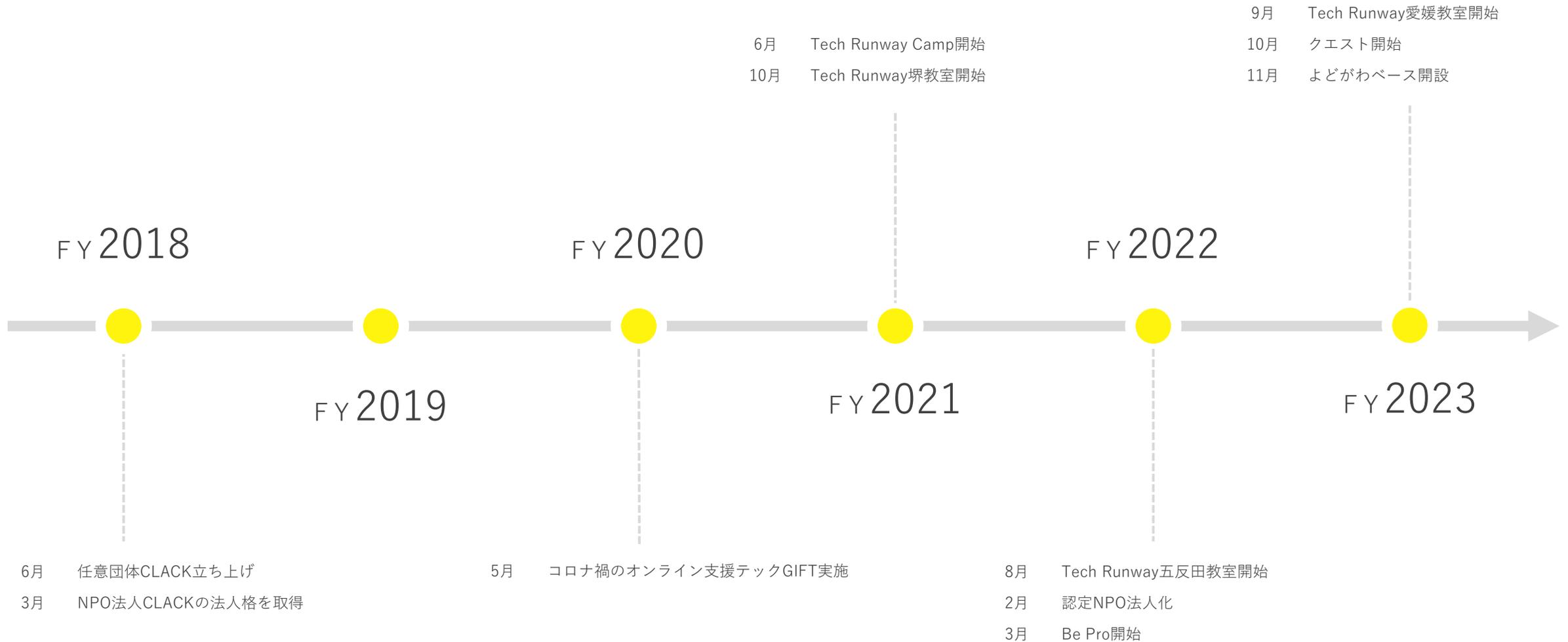


パソコン



プログラミング







目次

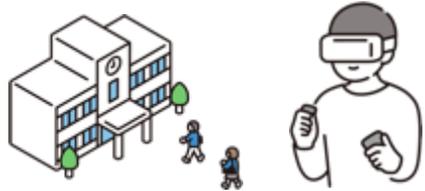
1. 自己紹介
2. 団体概要
3. 立ち上げの背景
4. 事業概要
5. 最後に

課題へのアプローチ 自走支援モデル



Step1

出会う



中高生へのアウトリーチ

プログラミング体験会

デジタル居場所

困難を抱える中高生と出会い、デジタルを身近に感じてもらい、デジタルを学ぶハードルを下げる

Step2

学ぶ



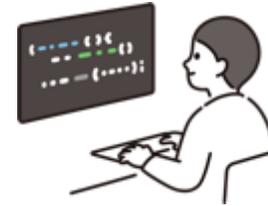
Tech Runway

Tech Runway+

プログラミング学習支援とキャリア支援を通じて、進路の選択肢を広げ、将来の精神的・経済的な自立につながる基礎をつくる

Step3

実践する



Be Pro

クエスト

高校生がプロになるためのITスキルを実践を通じて身につけ、ITを使った自走に近づいていく

Next Step

自走する



インターンシップ

学び、実践したことを生かし、自分自身の将来をポジティブに捉え、働きながら生活するすることができる

その他支援

食糧支援

居場所支援

相談支援

学習支援

就労支援

福祉サービス

出会った高校生ひとりひとりの状況に合わせて必要な支援につなぎ、点ではなく面での支援も行う

困難を抱える高校生支援の3つの難しさ

Step1

Step2

Step3

Step4



困難を抱える高校生支援には3つの難しさがあり、丁寧に段階を踏んだアプローチが必要になる

01

出会う難しさ

- 義務教育が終わり、行政支援とつながりが途切れる
- 学校では民間支援の情報が届きにくい
- 高校生自身が情報を見つける能力と意欲が低い

02

行動を促す難しさ

- 課外活動の参加経験が少なく、参加の心理的なハードルが高い
- 支援が自分にプラスか考える力が低く、自分ごととして捉えられないことが多い

03

継続する難しさ

- 自己肯定感の低さややりきった経験の少なさから、小さなことで挫折してしまう
- 何かをやると決めたとしても、アルバイトや友人からの誘いを優先してしまい、継続できない



高校生と出会うまでの流れ

Step1

Step2

Step3

Next Step



アウトリーチには、「出会う難しさ」「行動を促す難しさ」の2つの課題がある。

行政や支援団体と連携し、高校生の興味関心の高いコンテンツで確実にアウトリーチする。

高校生へのアウトリーチの課題

01 出会う難しさ

02 行動を促す難しさ

03 継続する難しさ



困難を抱える高校生にアウトリーチするには、出会う難しさと行動を促す難しさがある

NPO・高校・行政との連携



CLACK

困難を抱える高校生と関係性のあるNPOや高校、行政と連携し、確実に会う機会をつくる

プログラミング体験会



ドローン



VR



web
プログラミング

高校生が興味を持ちやすいコンテンツで自分にもできると感じてもらう

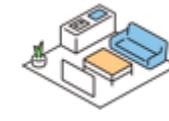
デジタル居場所



動画編集



ロボット



安心できる
空間

安心できる居場所とデジタルに触れる機会を提供し、選択肢を広げる

中高生のデジタル居場所 よどがわベース

Step1

Step2

Step3

Next
Step



中高生が3Dプリンター、ゲーミングPCなどのデジタル機材に触れられる居場所を週3回開設することで、長期的に自走・自立につなげていく

ロゴ・外観



設備



3Dプリンター



ロボット



ゲーミングPC

将来自立できる状態につなげていくには、
中高生の段階に応じたアプローチをしていく必要がある

フェーズ1



自分の状況に精一杯でやりたいことなどを考えることができない状態

安心できる居場所をつくる

デジタルお絵描き

漫画

フェーズ2



自分の生活や興味関心に目を向けられる余裕がある状態

興味関心にあわせた機会をつくる

3Dプリンター

レーザーカッター

フェーズ3



自分自身でやりたいことを見つけ、継続していくことができる状態

やりたいことを継続的にサポートする

プログラミング

動画編集

webデザイン

実際の様子



プログラミング学習支援とキャリア支援を行うことで進路の選択肢を広げ、
経済的自立と精神的自立につなげていく

01 プログラミング学習支援



プログラミングを3ヶ月間で学び、自分でWebサイト/サービスを作れるようになるまで講師が寄り添ってサポートする。

02 キャリア支援



今後の生活に必要なお金、進路選択、働き方、IT知識などについてワークショップや交流会を月に2回程度開催する。

Step2で身につく力



プログラミング
IT知識

これからの社会で必要になるプログラミングスキル、IT知識やPCの基本的な操作を身につける



自己肯定感

大学生、社会人といった様々な人に支えられながら学ぶ経験を通じて、自己肯定感を身につけていく



学習意欲

プログラム学習支援とキャリア支援を通して、新しいことを学ぶことや振り返り学ぶ力を身につけていく



問題解決能力

プログラミング学習支援とキャリア支援の中での検索や質問を重ね、情報を集め、活用する力を身につける

プログラミング学習支援の特徴



プログラミングの基礎から実際にアウトプットまでの作成で問題解決能力も身につける
大学生と社会人が丁寧に基礎の習得とアウトプットをサポートする

プログラミングの学習内容

時期	カリキュラム	目的
0~8週	教材でHTML、CSS、JavaScriptを学ぶ	<ul style="list-style-type: none">・ タイピングやPCの操作に慣れる・ プログラミングに必要な基本的な知識や考え方を学ぶ
9~12週	作りたいものを考え、HTML、CSS、JavaScriptを使って高校生自身が実装する	<ul style="list-style-type: none">・ 学んだことをアウトプットする・ 作りたいものを考えることで、自主性や創造性を・ 作りたいものを作ることで、問題解決能力を身につける

3ヶ月間・週2回でPC操作やプログラミングの基礎知識のインプットから実際につくりたいものを作るアウトプットまでを行う

講師の役割

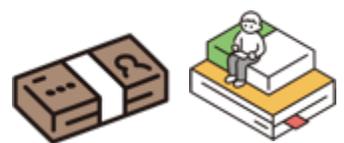
大学生メンター	
役割	「少し先」の技術力で近い立場から高校生に伴走する
要件	基本的なプログラミングスキル、コミュニケーション、目標・計画策定サポート
特長	充実した研修と毎回の振り返りでサポート
社会人エンジニア	
役割	「確かな」技術力で高校生に発展的な技術を教える
要件	プログラミングの実務経験、コミュニケーション
特長	技術力、コミュニケーションで厳しく選抜

キャリア支援の特徴



3ヶ月間の中でプログラミングスキルや学ぶ力だけでなく、身近な大人から社会の実態や仕組みに関する知識も学ぶ

進学費用



学費や奨学金など、進学に必要な費用を考える

進路



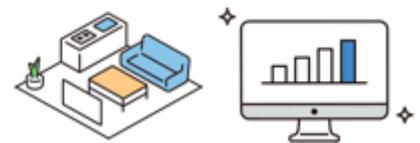
就職や進学それぞれのメリットやデメリットを知る

企業見学



IT企業に行き、ITエンジニアが実際に働いている姿を見学に行く。働くことそのもの、エンジニアの働き方などをより具体的にイメージできるようになる

金融リテラシー



働き、生活する上で必要なお金や仕組みを知る

情報検索



生活に必要な情報を獲得するための方法を学ぶ

キャリアトークセッション



実際にIT企業で働くエンジニアを中心とした社会人の経験をベースにキャリアについて話すことで、高校生のキャリアイメージを広げていく

経済的な理由から参加を見送ることがないように、
「完全無料」「交通費補助」「PCの支給」の3つのサポートを用意している

01

完全無料



授業料、教材費ともに完全無料で社会人エンジニアや大学生プログラミング学習のサポートをします。

02

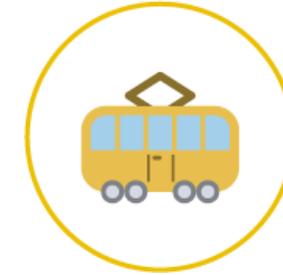
PCの無料支給



Tech Runway修了後に継続して学んだり、情報収集ができるようにPCを1人1台支給しています。

03

交通費の支給



家庭が経済的に厳しい状況であってもTech Runwayに参加できるように交通費を支給しています。

※Tech Runway+では原則支給なし

Step3 実践を通じて自走へ

Step1

Step2

Step3

Next Step



ITを使って働くために必要な技術を実践の中で身につけることで、
困難を抱える高校生が本当に自走できる状態をつくる

Be Pro



クエスト



『Step3. 実践する』 クエスト



CLACKが企業や団体からWeb制作、開発案件を受託
高校生がITスキルを実践する環境をCLACK内につくる



CLACKが
Web制作として
5ページ受託



トップページの一部を
高校生が制作

ITにおいても高校生が単純な仕事からはじめて、
正しくステップアップできる環境を作り、高校生がITで稼げる状態を作る



CLACKと出会う前の状況は？



CLACKと出会う前の状況は？

何気ない相談に乗ってもらえたり、分からない所を教えてくれたりと親身に対応してくださいました。こんなにも人を信用したのは初めてかもしれません。どうか、この活動を続けていってください。お願いします。



私がいろんなところに毎回つまずいていてもメンターが優しく「一緒にやってみようか!」と言ってくれて苦手だったプログラミングも好きになれた。



メンターや生徒、エンジニアの皆さんとコミュニケーションが取れたこと、自分の意見や考えを発表できる機会があったことが良かったです。自分のことを話せるようになれました。



Tech RunwayのおかげでITエンジニアになるという夢ができました。メンターの方々には普段相談できないようなことを聞いてもらったり、自分のことで気づきを得られたりしました。



目次

1. 自己紹介
2. 団体概要
3. 立ち上げの背景
4. 事業概要
5. 最後に

マンスリーサポーターになってCLACKを応援する

中高生の自走支援をつくる仲間、
デジタルを使った伴走支援のインフラをつくる仲間になりませんか？



The screenshot shows the CLACK website with a young girl's face in the background. The main text reads: 「日本の子どもの貧困を、ITの力で。」 Below this, a white box contains the text: 「困難を抱える高校生にプログラミング学習支援を届けるCLACKは2023年、設立4年目で認定NPO法人になりました。」 At the bottom, there are three columns: 「メディア掲載」 (Media Coverage) with newspaper clippings, 「受賞歴」 (Awards) with a group photo, and 「認定」 (Certification) with a document image.

マンスリーサポーターの
お申し込みはこちら▼

